

海況情報【内湾湾口観測結果】

愛知県水産試験場漁業生産研究所

令和7年1月17日

【観測結果（調査日：1月15、16日）】

1月15日に渥美外海、16日に伊勢湾の観測を実施しました。

【水平分布（調査点：P3～A10）】

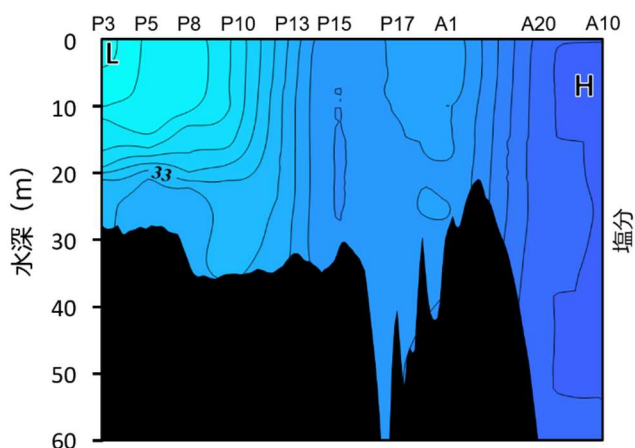
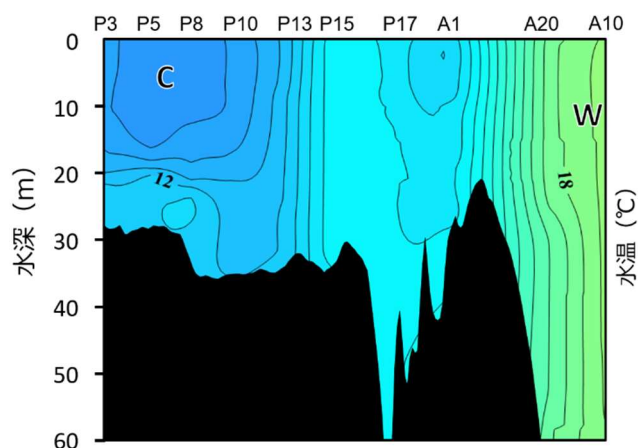
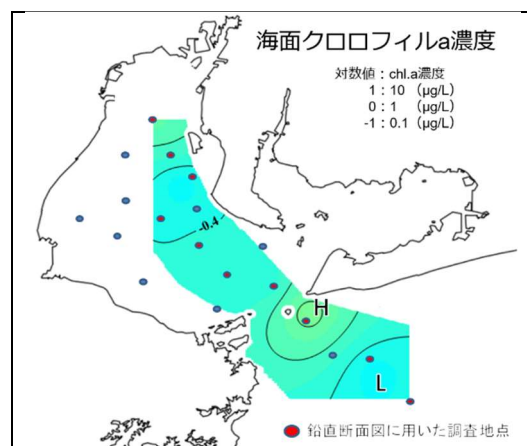
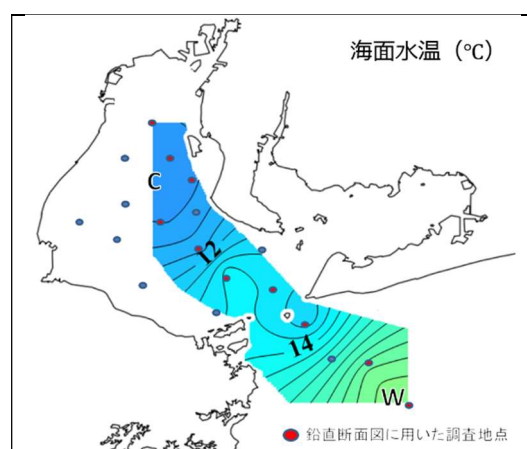
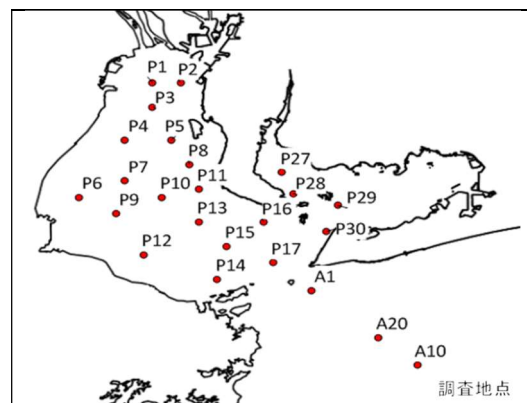
海面水温は、気温の低下により内湾の水温が低下しており、河川水の影響の大きい湾奥の水温が最も低くなっています。

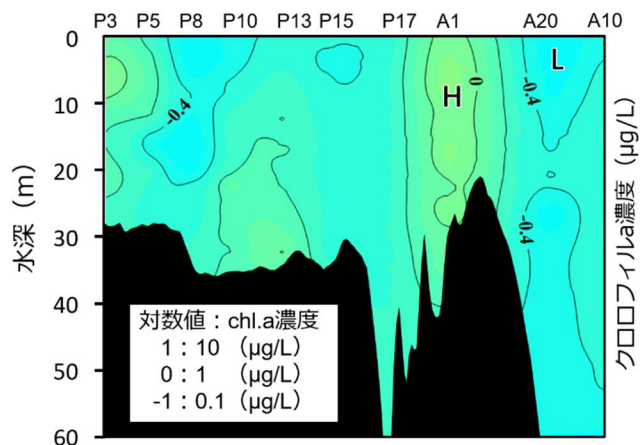
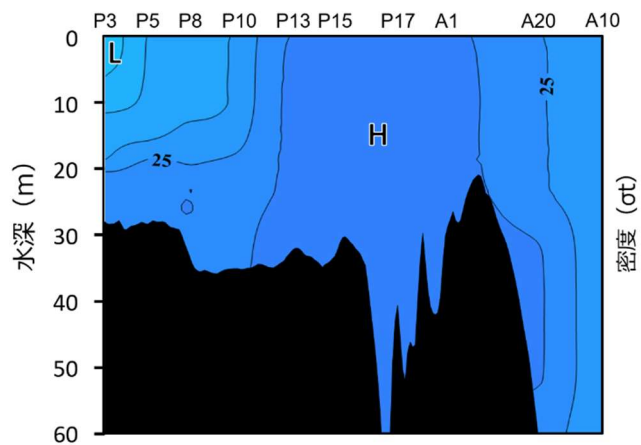
海面のクロロフィルa濃度は、伊勢湾の湾口部で高くなっています。

【鉛直分布（調査点：P3～A10）】

気温の低下に伴い、河川水の影響が大きい伊勢湾の湾奥～湾央で低温・低塩分の水塊が分布しています。一方、渥美外海には高温・高塩分の水塊が分布しています。伊勢湾湾口部付近では、2つの水塊が接する熱塩フロントが形成されており、2つの水塊と比べて高密度となっています。

クロロフィルa濃度は、湾口部の外海側（A1）で最も高く、湾口部まで輸送された低温・低塩分の内湾系水と外海水が混合された潮目で植物プランクトンが増殖していると考えられます。





※図中の値は常用対数値です

